

經濟論叢

第100卷 第3号

中谷實教授記念號

献 辭	出口 勇 蔵	
貨幣理論における投資・貯蓄接近法	菱 山 泉	1
ファイフェルの信用創造の概念	金 森 恒 利	21
金融仲介機関に関連する諸問題	岩 根 達 雄	41
中国における定息について	三 木 毅	56
ミルトン・フリードマンの 「貨幣数量説」について	石 川 常 雄	75
貨幣数量説の再検討	島 津 亮 二	99
物の流れと資金の流れ	鎌 倉 昇	116

中谷 實 教授 略歴・著作目録

昭和42年9月

京 都 大 學 經 濟 學 會

中谷 實 教授 略歴

- 明治37年(1904) 4月9日 大阪市に生まる
- 大正11年(1922) 3月 大阪府立今宮中学校卒業
- 大正14年(1925) 3月 大阪高等学校卒業
- 4月 京都帝国大学経済学部入学
- 昭和3年(1928) 3月 同大学学士試験合格
- 4月 京都帝国大学大学院入学, 貨幣論専攻
- 5月 京都帝国大学経済学部副手(大学院学生のまま)
- 昭和4年(1929) 3月 京都帝国大学大学院退学
- 3月 京都帝国大学経済学部講師
- 昭和13年(1938) 3月 京都帝国大学助教授(経済学部)
- 昭和15年(1940) 2月 満洲国および中華民国へ出張(同年3月まで)
- 昭和16年(1941) 7月 朝鮮へ出張(同年8月まで)
- 9月 大阪外国語学校講師(嘱託)(昭和27年3月まで)
- 昭和18年(1943) 6月 金融学会創立と同時に会員となる
- 昭和21年(1946) 7月 京都帝国大学教授(経済学部, 財政学講座担当)
- 7月 京都帝国大学校友会卓球部顧問
- 昭和23年(1948) 3月 工学部授業(経済学大意)担当(昭和24年3月まで)
- 昭和24年(1949) 2月 財政学講座担当を免ぜられ経済学第4講座担当
- 8月 吉田分校授業(経済学通論)担当(昭和25年3月まで)
- 11月 京都府建設業審議会委員
- 昭和25年(1950) 3月 分校授業(経済学)担当(1年間)
- 4月 同志社大学嘱託講師(金融経済論担当)(昭和27年3月まで)
- 9月 学術奨励審議会(学術用語分科審議会)専門委員(昭和39年6月まで)
- 10月 京都大学補導委員(昭和26年12月まで)
- 昭和26年(1951) 4月 甲南大学経済学部設立準備委員(昭和27年3月まで)
- 6月 信州大学理学部非常勤講師(昭和27年3月まで)
- 昭和27年(1952) 7月 教職員免許法認定講習講師(京都大学)
- 昭和28年(1953) 2月 京都大学評議員(昭和30年3月まで)
- 4月 大学院経済学研究科学生指導担任(昭和38年3月まで)

昭和28年(1953) 4月	京都女子大学および同短期大学部非常勤講師 (昭和31年3月まで)
5月	京都府建設業審議会委員
6月	京都大学防火委員会委員 (昭和30年5月まで)
昭和29年(1954) 6月	京都大学建築委員会委員 (昭和31年1月まで)
10月	京都大学学生部委員 (昭和30年9月まで)
昭和30年(1955) 3月	京都大学経済学部部長事務代理 (同年6月まで)
4月	京都大学評議員事務代理 (同年6月まで)
4月	法学部非常勤講師 (同年10月まで)
9月	信州大学理学部講師併任 (昭和31年3月まで)
10月	京都大学教授 (分校) 併任 (昭和31年1月まで)
昭和31年(1956) 1月	京都大学経済学部部長 (昭和32年1月まで)
4月	法学部非常勤講師 (同年10月まで)
7月	三重大学学芸学部講師併任 (同年9月まで)
7月	京都商工会議所商業活動調整協議会委員 (昭和33年7月まで)
12月	大学設置審議会臨時委員 (昭和32年12月まで)
昭和32年(1957) 7月	信州大学文理学部講師併任 (昭和33年3月まで)
12月	大学設置審議会臨時委員 (昭和33年12月まで)
昭和33年(1958) 3月	アメリカ合衆国, イギリス連合王国, フランス国, ドイツ連邦共和国, スウェーデン国, スイス国, イタリア国へ出張 (同年7月まで)
10月	法学部非常勤講師 (昭和24年3月まで)
11月	金融学会理事就任
昭和34年(1959) 1月	図書館商議会商議員 (昭和35年5月まで)
2月	大学設置審議会臨時委員 (昭和36年2月まで)
4月	法学部非常勤講師 (昭和35年3月まで)
7月	信州大学文学部講師併任
11月	アメリカ合衆国へ出張 (同年12月まで)
昭和35年(1960) 4月	法学部非常勤講師 (昭和36年3月まで)
昭和36年(1961) 1月	京都大学防火委員会委員 (同年12月まで)
4月	法学部非常勤講師 (昭和37年3月まで)
7月	信州大学文理学部講師併任

- 昭和37年(1962) 2月 経済学博士(経第68号)
4月 法学部非常勤講師(昭和38年3月まで)
- 昭和38年(1963) 4月 大学院経済学研究科担当(本年度中)
4月 法学部非常勤講師(昭和40年3月まで)
7月 信州大学文理学部講師併任
- 昭和39年(1964) 4月 大学院経済学研究科担当(本年度中)
4月 法学部非常勤講師(昭和40年3月まで)
6月 学術奨励審議会専門委員(昭和41年6月まで)
- 昭和40年(1965) 4月 大学院経済学研究科担当(本年度中)
4月 法学部非常勤講師(昭和41年3月まで)
7月 信州大学文理学部講師併任
- 昭和41年(1966) 1月 愛媛大学文理学部講師併任(同年2月まで)
4月 大学院経済学研究科担当(本年度中)
4月 甲南大学非常勤講師(昭和42年3月まで)
5月 京都大学創立70周年記念事業学内実行委員会委員
7月 京都大学創立70周年記念式典委員会委員
9月 学術奨励審議会専門委員(昭和43年8月まで)

中谷 實 教授 著作目録

著 書

預金通貨の研究 (財政金融研究会紀要, 第2巻)	有斐閣	昭和8年(1933)
新金融理論—預金通貨と中立貨幣—	有斐閣	昭和13年(1938)
金融論 (経済学ハンドブック) (編)	高文社	昭和25年(1950)
金融論 (経済学ハンドブック) (改訂新版, 岩根達雄共著)	高文社	昭和37年(1962)

論 文

銀行の信用膨脹に就いて	経済論叢	第30巻第6号	昭和5年(1930)5月
銀行の信用膨脹に就いて	経済論叢	第31巻第1号	7月
信用及信用組織	経済論叢	第31巻第4号	10月
金融統計特に通貨統計に就いて	経済論叢	第32巻第1号	昭和6年(1931)1月
信用と資本	経済論叢	第32巻第5号	5月
信用拡張と銀行流動性	経済論叢	第33巻第3号	9月
ケインズの基本的均衡関係	経済論叢	第33巻第5号	11月
金融機関としての預金銀行の地位	経済論叢	第35巻第1号	昭和7年(1932)7月
預金通貨の貨幣的性質に就いて	経済論叢	第36巻第1号	昭和8年(1933)1月
貨幣と物価との相関関係に就いて	経済論叢	第36巻第4号	4月
貨幣需要と貨幣の流通速度	経済論叢	第38巻第1号	昭和9年(1934)1月
生産増加と貨幣需要	経済論叢	第38巻第6号	6月
貨幣量と銀行制度	経済論叢	第39巻第6号	12月
支払準備の法定に就いて	経済論叢	第40巻第1号	昭和10年(1935)1月
補助貨幣の供給	経済論叢	第40巻第4号	4月
産業的流通に於ける営業貨幣の 流通速度	経済論叢	第41巻第2号	8月
産業的流通に於ける営業貨幣の 流通速度	経済論叢	第41巻第3号	9月
中立貨幣に於ける貨幣数量	経済論叢	第42巻第1号	昭和11年(1936)1月
中立貨幣政策に就いて	経済論叢	第42巻第3号	3月
節約投資の均衡と中立貨幣	経済論叢	第42巻第6号	6月
貨幣経済論的立場より見たる 財産税	経済論叢	第43巻第5号	11月
中立貨幣の条件に関する一異説	経済論叢	第44巻第4号	昭和12年(1937)4月

貨幣の中立性に関する一考察	経 済 論 叢	第44巻第5号	昭和12年(1937)5月
中立貨幣と外国為替相場	経 済 論 叢	第46巻第5号	昭和13年(1938)5月
資本及資本形式理論の二元性	経 済 論 叢	第47巻第2号	8月
経済学の悲哀	経 済 論 叢	第47巻第5号	11月
我国に於ける預金通貨統計の発達	経 済 論 叢	第48巻第1号	昭和14年(1939)1月
公正価格の意義	経 済 論 叢	第48巻第3号	3月
信用理論と其の経済的基礎	経 済 論 叢	第49巻第1号	7月
貨幣と金	経 済 論 叢	第49巻第5号	11月
貨幣の資本的考察	経 済 論 叢	第50巻第3号	昭和15年(1940)3月
金融公営論の一根拠	経 済 論 叢	第51巻第5号	11月
貨幣市場と資本市場	経 済 論 叢	第52巻第2号	昭和16年(1941)2月
信用の生産性	経 済 論 叢	第52巻第5号	5月
資金調整の課題	経 済 論 叢	第53巻第3号	9月
金本位の廃棄と支払準備	経 済 論 叢	第54巻第3号	昭和17年(1942)3月
資本形成の意義	経 済 論 叢	第55巻第1号	7月
資本形成の過程	経 済 論 叢	第55巻第4号	10月
均衡過程と価格統制	経 済 論 叢	第56巻第1号	昭和18年(1943)1月
資本形成過程の分析と貨幣需要	経 済 論 叢	第56巻第5号	5月
銀行と工業	経 済 論 叢	第58巻第1・2号	昭和19年(1944)2月
預金通貨概念の問題	経 済 論 叢	第64巻第1・2・3号	昭和24年(1949)9月
預金銀行における信用創造の意味	経 済 論 叢	第66巻第4号	昭和25年(1950)10月
預金通貨と流動性および利子	経 済 論 叢	第70巻第6号	昭和27年(1952)12月
価値尺度が交換手段か	バンキング	第 76 号	昭和29年(1954)7月
支払準備制度の意味するもの	バンキング	第 96 号	昭和31年(1956)3月
貯蓄・投資の効果と連関	京大経済学部創立四〇周年記念 「経済学論集」		昭和34年(1959)6月
金融資産の需要	経 済 論 叢	第86巻第5号	昭和35年(1960)11月
タームローン登場の背景	金融ジャーナル	第2巻第8号	昭和36年(1961)8月
成長金融政策の性格	バンキング	第 174 号	昭和37年(1962)9月
国際通貨・金融の問題点	経 済 論 叢	第91巻第1号	昭和38年(1963)1月
貨幣経済の仕組みを解くために	金融ジャーナル	第4巻第3号	3月
資本移動の自由化と金融	金融ジャーナル	第4巻第7号	7月
信用創造論の整理	バンキング	第 196 号	昭和39年(1964)7月
金融政策と商業銀行	経 済 論 叢	第94巻第4号	10月

国債の収縮的効果	金融ジャーナル	第6巻第2号	昭和40年(1965)2月
金融制度をどうするか	金融ジャーナル	第6巻第5号	5月
不況と預金	金融ジャーナル	第6巻第10号	10月
国債発行をめぐって	パンキング	第211号	10月
景気浮揚策の反省	金融ジャーナル	第7巻第2号	昭和41年(1966)2月
国債発行と金融政策	経済論叢	第97巻第2号	2月
二律背反の途	金融ジャーナル	第7巻第9号	9月
金融政策論の問題点	経済論叢	第99巻第6号	昭和42年(1967)6月
Deposit Currency and its Velocity of Circulation in Japan	<i>The Kyoto University Economic Review</i>		Vol. 14, No. 4, Oct. 1939
Credit Money and its Control	<i>The Kyoto University Economic Review</i>		Vol. 24, No. 2, Oct. 1954

辞 典

山崎覚次郎・橋爪明男編「金融大辞典」日本評論社	昭和9年(1934)
高垣寅次郎・山口茂・田中金司・新庄博・高橋泰蔵・塩野谷九十九編 「体系金融辞典」東洋経済新報社	昭和28年(1953)
山口茂・沖中恒幸編「現代金融事典」第4巻、制度・機関、春秋社	昭和35年(1960)
高垣寅次郎・山口茂・田中金司監修「体系金融大辞典」東洋経済新報社	昭和41年(1966)

(作成者 石川常雄)